

船橋市立医療センターNews No.43

●発行年月日/令和2年1月1日 ●編集/船橋市立医療センター広報委員会 ●発行責任者/院長 丸山 尚嗣
〒273-8588 船橋市金杉1-21-1 ☎047-438-3321(代) <http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>



「白鳥」病院局長撮影

病気を治める

船橋市立医療センター院長 丸山 尚嗣



私が好きな作家の一人、五木寛之さんが以前に講演で話されていたことで印象に残ったことがあります。文学を生業とする人らしく「治」という字を取り上げて話し始めましたが、私なりに理解したことを要約してみます。「治」には訓読みで二つの読み方があります。一つは「治す（なおす）」で、病気やケガを治療して治癒に導くことです。今までの医療は多くがこの「治す」ことを目標にしてきました。しかし、高齢化社会を迎えた今日では「治す」一辺倒ではなく、もう一つの読み方「治める（おさめる）」を今までより意識する必要があるのではないのでしょうか。辞書を引くと、治めるとは静め

る、鎮めるという意味を持ちます。必ずしも治癒するとは限らない病気と上手に付き合っていくということです。さすがは五木さん、うまいことをおっしゃるものです。

病気を治める、は今風の言い方をすれば「緩和医療」と似た意味合いを持つと思います。

緩和治療あるいは緩和ケアが必ずしもがんの終末期治療ではないことは今や常識となりつつあります。がんに限らず、病気になった時点から「治す」と並行して「治める」医療が始まるのです。

当院では今年度、緩和ケアセンターを設置しました。重い病気によるつらさを感じる方は、遠慮なく病棟や外来のスタッフに声を掛けてください。

目次

緩和ケアセンターはすべてのがん患者さんに寄り添います… 2～3	医療を学ぼう！ in 図書館／第40回 公開医療講座／
千葉県看護功労者知事表彰／ボランティア善行表彰／	次回の公開医療講座…………… 6
DMAT災害派遣 …………… 4	救命救急センター 24時／成果発表会／職員募集 … 7
新たに認定看護師が増えました！／研修医のつばやき… 5	外来担当医師一覧表…………… 8

緩和ケアセンターは すべてのがん患者さんに 寄り添います

センター長 多部田弘士
ジェネラルマネージャー（副センター長） 和田 弘子

緩和ケアセンターが発足しました

9月1日から当院に緩和ケアセンター（以下、本センター）が設置され、活動を開始しました。本センターは、がん患者さん、そのご家族に、診断の早期から切れ目なく適切な緩和ケアを提供するためにつくられました。現在活動しているサポート・ケアチーム（緩和ケアチーム）や緩和ケア病棟、緩和ケア外来、がん相談支援センターがこれまで以上に能力を発揮できるように取りまとめる役割を果たします。



緩和ケアセンターのメンバー：丸山院長から「指名書」が手渡されました

緩和ケアについて

緩和ケアとは、がんに限らず重い病を抱える患者さんやそのご家族の身体や心のつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支える医療です。



サポート・ケアチームのカンファレンス：
全員で情報を共有し、解決策を探ります



サポート・ケアチームの病棟の往診：
患者さんのもとを訪れ、丁寧に診察します



サポート・チームのバッジ：
胸にこのバッジがあればメンバーの印です

「緩和ケア」は、決して「終末期医療」と同じではなく、病気の時期にかかわらずどの段階でも行われる医療です。

緩和ケアの内容は一様ではなく、個々の患者さんに応じて様々な場所で、様々な方法で行われます。

サポート・ケアチーム（緩和ケアチーム）について

サポート・ケアチーム（緩和ケアチーム）は、本センターの中核となって活動します。

患者さん、ご家族のQOLを向上させるために、緩和ケア専門の医師・看護師が中心となり、薬剤師、栄養士等の多職種と連携してチーム医療を提供します。現場主義をモットーに、外来・病棟と患者さんのいるところにチームが出向き、お話を伺い診察し、解決策を見出して主治医や病棟スタッフにアドバイスします。痛み等の身体的なつらさ、気持ちのつらさ・不安、仕事や家族に関することなど様々な‘つらさ’を軽くするために、専門的な見地からケアさせていただきます。

サポート・ケアチーム以外にも困ったときの相談窓口があります

● がん患者指導管理面談（がん患者カウンセリング）

がんに関する専門的な知識を持つ看護師が面談を行います。

「たくさん相談したいことがある」「治療の選択で悩んでいる」「今後のことへの不安がある」等のことがあればぜひご利用ください。

● がん相談支援センター

専従の看護師とソーシャルワーカーが緩和ケア、医療費・社会保障制度、転院、がんの症状・治療・副作用、他の医療機関の紹介等に関わる問題に対応します。

また、“がん患者サロン”を毎月開催し、患者さん同士が交流する機会を設けています。

院内には相談する部署が色々あります。

“つらい”時は、一人で悩まず遠慮なく医師・看護師にお声かけ下さい。

診断の時から始まります

緩和ケアセンターは、がんと診断されたその時から、治療法の決定や療養場所の選択等、その時々で患者さん一人ひとりが納得できる選択が行えるよう支援していきます。

和田弘子副看護局長が 千葉県看護功労者知事表彰を受賞!

この度は看護功労者表彰という栄誉ある賞をいただき、深く感謝しております。看護師として携わってきた30数年間、周囲の多くの方々に支えられ、学ばせていただいたことが今回の受賞に結びついたと思います。

医療は高度化し、より専門的になってきましたが、今も昔も変わらないのは、患者さんとご家族の想いを汲み、寄り添い、共に進むことです。この間に係わった患者さん、ご家族の方からは沢山のことを教えていただきました。この文章を書きながら改めて多くの方との出会いがあり、今の自分があると感慨深い気持ちになりました。今後も人と人との関わりを大切に、微力ではありますが看護を通して社会のお役に立ちたいと考えております。



当院のボランティアが善行表彰を受けました

当院のボランティアとして活動されている星恵子さん、萬代規代子さんが、善行により市民の模範となった方として市から善行表彰を受けました。お二人は共に6年10ヶ月の間、当院で患者さんのご案内や病棟での玩具の整理・清掃などをしてくださっています。

今回の表彰について、星さんは「思いがけずこのような賞をいただき、驚きました。大変感謝しております。これからは病院ボランティアとして皆様のために活動していきたいと思っております。」と語りました。また、萬代さんから「このような賞をいただき本当に感謝しております。これからは皆様とともに患者さんの心に寄り添い、ボランティア活動を続けていきたいです。」とお言葉をいただきました。



ディーマット DMAT(災害派遣医療チーム)災害派遣

このたびの台風15号及び台風19号により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

9月9日と13日の計2日、千葉県からDMAT派遣要請を受け、当院のDMATを派遣しました。9日の活動は、君津市にある鈴木病院が停電による影響で約100名の患者さんを他病院へ避難させる必要があり、患者さんの搬送支援を行いました。13日の活動は、東千葉メディカルセンターで本部支援などを行いました。



9月9日暗闇の中複数のチームで夜通し搬送を行いました

10月12日は、千葉県から要請を受け、DMAT活動拠点本部を院内に設置し、東葛南部医療圏及び市内の被害情報収集、支援内容の検討を行いました。管轄エリアは、大きな被害がなかったため、13日10時頃に本部解散となりました。



9月9日君津市へ出発する隊員



10月12日DMAT活動拠点本部の様子

今回災害対応にあたった当院のDMAT隊員は、緊張感の中少しでも被災地の力になろうと精一杯活動を行いました。今後もあらゆる災害を想定し、備えていきます。

※この「医療センター News」のバックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます。

新たに認定看護師が増えました！



摂食・嚥下障害看護認定看護師 飯田 友則

日常生活の中で、食べることは楽しみのひとつで生活の質を豊かにしてくれます。しかし、飲み込みに支障を来すと、今までのように口から食べることが難しくなるかもしれません。患者さんやご家族の食べたい思いを支え、味わう楽しみが一日でも早く実現できるようにサポートいたします。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 岩佐 朋子

急性期から病気の悪化を最小限にする看護を行っています。また社会復帰に向けた早期からのリハビリを行い、生活の立て直しや再発の予防が行えるように、活動しています。脳卒中は予防が一番です。「脳卒中にならない」活動も行っていきたくと思っています。



緩和ケア認定看護師 細川 順子

緩和ケアセンターで活動しています。緩和ケアは、がんと診断された時からすぐに提供されると療養生活に良い効果があると言われています。患者さんとご家族のお気持ちを十分に聴きながら心身のつらさを和らげ、安心して生活できるよう寄り添う看護を提供していきたいです。お一人で悩まず、ご相談下さい。

研修医の つぶやき



初期臨床研修医1年 中村 元

初期臨床研修医1年目の中村です。

小さな頃、弟が当院に何度か入院していました。お見舞いに来るたび近くの宝島で焼肉を食べるのが楽しみで、そのころから勝手に当院への馴染みを感じていました。そんな馴染みのある当院で働きはじめてから早半年になります。上級医の方々をはじめ病院のスタッフに支えていただきながら、業務や学びに追われながらも充実した日々を送っています。人生で1番濃密で、あっという間に感じる半年だったかもしれません。

さて、10月に同期で旅行をする機会を頂き、館山に行ってきました。写真はそのときのもので、バーベキューやボウリングをしたり、凍えながら海に入ったりいい思い出です。

同期や当院でできた繋がりを大切にしていきたいです。

最後に、みなさんとは主に病棟や救急外来でお会いするかもしれませんが、医療の経験は先輩方より浅いですが、より患者さんと近い目線に立てるよう日々精進しています。些細なことでも是非おっしゃってください。みなさんの力になれるよう全力を尽くします。今後とも何卒初期臨床研修医をよろしくお願いいたします。



当院は省エネに取り組んでおります。ご協力お願いいたします。

医療を学ぼう！ in 図書館

船橋市西図書館（毎月医療講演会と相談会を開催）

ぜひご参加ください！

○最近の講演会の様子

第37回 10月 「やさしい乳がんのはなし～検査から最新治療まで～」 乳腺外科部長 松崎 弘志

10月はピンクリボン月間のため、土曜日開催にしました。早期発見・早期治療のための検診の重要性や最新治療についての分かりやすい講演で皆さん熱心に聞いていました。

第38回 11月 「ソ径ヘルニアのはなし」 外科副部長 佐藤 やよい

医師より最新のソ径ヘルニアの手術的治療など具体的なお話がありました。手術室看護師より普段あまり見ることが出来ない実際の手術室の様子などわかりやすくお話がありました。

第39回 12月 「腎臓病のはなし」 腎臓内科・リウマチ科部長 清水 英樹

腎臓の働きや検査、腎不全の病態や、腹膜透析・血液透析など治療について専門医より詳しい説明がありました。管理栄養士より腎臓病の食事について簡単にできる食事の工夫などわかりやすいお話がありました。



○今後の医療講演会予定 14:00～15:00 要申し込み 先着50名

日程	演題	演者
1月16日（木）	インフルエンザのはなし～予防・治療および最新情報～	呼吸器内科部長 中村 祐之
2月20日（木）	当院における鼻科治療について	耳鼻いんこう科部長 小林 皇一
3月7日（土）	パーキンソン病のはなし	脳神経内科部長 鶴岡 淳

講演会、相談会申し込み先：西図書館 船橋市西船1-20-50 TEL 047-431-4385

毎月1日 9:30より受付（1月分は12月2日より受付）

船橋市東図書館

2月6日（木） 14:00～15:30 要申し込み 先着50名

「口の中にできものありませんか？」 歯科口腔外科部長 村野 彰行

場所：東図書館（習志野公民館）

申し込み先：中央図書館 TEL047-460-1311 1月6日（月）9:30より受付

※予定は変更する場合がありますので、広報ふなばしや図書館HP等でご確認ください。

患者支援センター 宇美 由美

第40回 公開医療講座



「糖尿病患者さんが“いつまでも元気に自分の足で歩く”ために～患者さんやご家族ができるフットケア～」を開催しました



10月10日（木）に市民文化創造館（きららホール）にて、慢性疾患看護専門看護師である曾根晶子副師長を演者とした公開医療講座を開催しました。今回の講演では、糖尿病と足の関係や足を守るための工夫、フットケアの方法について、具体的な解説を行いました。

曾根副師長は、「糖尿病患者さんは神経障害により傷の発見が遅れやすく、抵抗力も低下している状態であるため、小さな傷でも適切な処置をせずに放置すると足の傷が悪化してしまう可能性があります。そのため、普段の生活にフットケアを取り入れ、足を守っていただき、傷がある場合はすぐに医療機関を受診することが大切です。」と語りました。

公開医療講座 次回のお知らせ

第41回 意外と知らない便秘のはなし

日時 1月30日（木）14:30～15:30

会場 市民文化創造館（きらら）

参加費 無料

講師 東郷 聖子（消化器内科副部長）

定員 当日先着190人（予約不要）

問い合わせ 医事課

病院ボランティア（患者さんの案内や図書のリクエストなど）を募集しています。詳しくは、医事課まで

救命救急センター24時 —Time is Brain! 脳卒中は直ちに病院へ!!—

今回は脳卒中についてご説明します。脳卒中の語源は、脳神経外科学会によると「卒然として（急に）邪風の中（あた）る」ことだそうです。すなわち急に顔がゆがんだり（顔：**F**ace）、片方の手足が動きにくくなったり感覚が失われたり（腕：**A**rm）、話せなくなったり（会話：**S**peech）することを意味しています。脳卒中は血管が詰まったり（脳梗塞）、破れて出血したり（脳出血、くも膜下出血）して、脳の機能が失われる病気の包括的な名称です。治療は「Time is Brain（時は脳なり）」とも言われるように、直ちに救急車で病院を受診（**T**ime to Call 119）することが重要です。アメリカ心臓／脳卒中協会は、前述の脳卒中の兆候が見られたら、直ちに病院を受診することを推奨し**F.A.S.T.**と名付けて啓蒙活動を行っています。

脳卒中の治療はなぜ時間が大事なのでしょう。それは脳組織が再生しないからです。失った脳機

能はリハビリテーションで補うことは可能ですが、それには時間と努力が必要です。治療が早ければ早いほど失う脳組織を減らせます。特に脳梗塞では血栓溶解療法（詰まった血の塊を薬で溶かす治療）や血栓回収療法（血の塊をカテーテルで取り除く治療）が開発され効果を上げています。しかしこれらの治療も時間がたってしまうと効果は得られません。脳卒中にならないためには禁煙や高血圧や糖尿病の治療に加え、運動が重要ですが、もし**F.A.S.T.**の兆候がひとつでも見られた場合は、様子を見ることなく素早く（FAST）病院を受診してください。

あなたの知識と勇気で「いのち」を救えます！
救命救急センター長 角地 祐幸



令和元年度成果発表会を開催！



12月4日（水）に成果発表会が開催され、年度当初に設定した目標に対する成果を部署ごとに披露しました。

今年度の最優秀賞を受賞した看護局は、専任の看護師長によるベッドコントロール及び毎朝のミーティングを行い、より多くの患者さんの受け入れを可能にしました。また、病棟編成の検討などを他部署と協力して行い、病床管理の仕組みづくりに主体的に取り組みました。

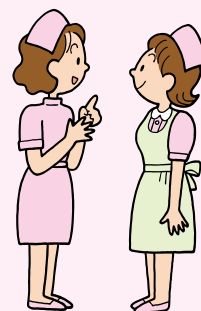
令和元年度 募集概要

資格をお持ちでない方もできるお仕事です！

看護補助者(パート)募集

●資格／特になし ●時給／1,060円（看護補助者）

※詳細は当院ホームページ（<http://www.mmc.funabashi.chiba.jp>）をご覧ください。



外来担当医師一覧表

令和2年1月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
内科	新患	山田 奈々	多部田弘士	下山 立志	稲垣雅行/福澤 茂	白石結佳/葉山奈美	(木)は、第1・3・5稲垣、第2・4福澤 (金)は、第1・3・5白石、第2・4葉山
	呼吸器	白石 結佳 黒木 嗣子	天野 寛之 中村 純	葉山 奈美 藤田 哲雄	中村 祐之 中村 純	天野 寛之 藤田 哲雄	
	消化器	東郷 聖子 石井清文/関 厚佳	関 厚佳 安藤 健/笠松伸吾 古賀 邦林	安藤 健 小林照宗/東郷聖子 藤井 渚夕	水本 英明 古賀 邦林 石井 清文	小林 照宗 藤井 渚夕 笠松 伸吾	一段目と三段目の医師は、原則、 消化器内科からの予約患者のみ (月)は、第1・3・5石井、第2・4関 (火)は、第1・3・5安藤、第2・4笠松 (水)は、第1・3・5小林、第2・4東郷 (木) 石井は午後のみ
	代謝	岩岡 秀明 下山 立志	下山 立志	栗田 健市	下山 立志	岩岡 秀明	
	腫瘍			平野 聡	平野 聡		腫瘍内科は、肺がん、縦隔腫瘍、 原発不明がんのみ
	腎臓 リウマチ・膠原病	清水 英樹/ 窪田沙也花 ^{*3}	腎臓内科 午後1:30~ 清水 英樹			清水 英樹	完全予約制 ※3 午前はリウマチ・膠原病のみ で第1・3・5窪田、第2・4清水 午後 は腎臓、リウマチ・膠原病で清水
心臓血管センター	循環器科 予約	内山 貴史 稲垣 雅行	降旗修太/黒岩信行 沖野 晋一	岩田 曜 稲垣雅行/内山貴史	黒岩 信行 丘 慎清	福澤 茂 石脇 光	(水) 第1・3・5稲垣、第2・4内山 (月) 沖野/石脇、(火) 降旗/黒岩、 (水) 内山/芝山、(金) 岩田/黒岩は隔週
	新患	沖野晋一/石脇 光	丘 慎清	内山貴史/芝山納穂	降旗 修太	岩田 曜/黒岩信行	午後1:30~ (火) 第2高原 第1・3・4・5茂木
緩和ケア内科			武田 英男	[交替医]	[交替医]		午前9:00~ 予約患者のみ
精神科	新再来	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦	宇田川雅彦		新患は事前予約が必要(電話も可)
小児科		伊賀 裕子 今泉 孝章	佐藤 純一 河内 遼	丹羽 淳子 斉藤 裕子	木谷 豊 竹本 直輝	伊賀 裕子 坂井 美穂	
外科	新患(消化器・一般)	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	
	消化器・一般	吉岡 隆文	夏目 俊之 佐藤やよい	丸山 尚嗣 野手 洋雅	田中 元 貝沼 修	澤田 尚人	(水) 丸山 午前のみ (水) 吉原 午後のみ
	乳腺	青柳 智義 南村 真紀	松崎 弘志 吉原ちさと	青柳 智義 玉貫 圭甲 吉原ちさと		玉貫 圭甲 松崎 弘志 南村 真紀	
整形外科		[交替医] 渡慶次壮一郎 (手術日)	池之上純男 高瀬 完 榎本 隆宏	三村 雅也 鮫田 寛明 染谷 幸男	[交替医] 山本景一郎 橋本 瑛子 (手術日)	[交替医] 久保田憲司 (手術日)	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可) (木) 橋本は第1のみ
形成外科		(手術日)	内田 龍志 小曾根琢真	内田 龍志 小曾根琢真	(手術日)	内田 龍志 小曾根琢真	(金) 内田 (午後)は乳房再建外来
脳神経外科		内藤 博道 新美 淳 根本 文夫	[交替医] (手術日)	畑山 和己 森脇 拓也 内藤 博道	安間 芳秀 [交替医] (手術日)	根本 文夫 田坂 研太 畑山 和己	(月) 根本、(水) 内藤 (金) 畑山は新患患者のみ (木) 安間は第1のみ
脳神経内科			鶴岡 淳		宗像 紳		(木)第2・4 午後1:30~ 予約患者のみ (火)は再診のみ
呼吸器外科		一ノ瀬修二 荒牧 直	一ノ瀬修二 荒牧 直	(手術日)	一ノ瀬修二 木下 孔明 荒牧 直		
皮膚科		亀田 瑛佑	亀田 瑛佑 宮川 健彦	亀田 瑛佑	亀田 瑛佑 宮川 健彦	亀田 瑛佑 大田 玲奈	皮膚科は予約患者のみ (紹介状ありは可)
泌尿器科		武田 英男 [交替医]	佐藤 信夫 齋藤 心平	佐藤 信夫 [交替医]	佐藤 信夫 金 尚志	佐藤 信夫 木下 涼	
産婦人科		齊藤 俊雄 名古屋ゆり恵	大村 涼子 森 麻子 (手術日)	齊藤 俊雄 名古屋ゆり恵 (手術日)	佐々木直樹 [交替医]	佐々木直樹 森 麻子 (手術日)	
眼科		小林 悠里 武石真里恵	松枝 美文 (手術日)	上原 七生 松枝 美文	武石真里恵 小林 晋二	小林 悠里 小林 晋二	(火)・(水)は予約患者のみ (紹介状ありは可)
耳鼻いんこう科		宮田 卓 大熊 雄介	[交替医] (手術日)	小林 皇一 大熊 雄介	(手術日)	宮田 卓 小林 皇一	
放射線治療科		有賀 隆	有賀 隆 荒木 仁	金澤 亜希 荒木 仁	小池 直義 荒木 仁	有賀 隆	完全予約制
麻酔科		[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	[交替医]	午前9:00~11:00 予約患者のみ ※1は午前、※2は午後
歯科口腔外科		喜田晶洋 [*] /村野彰行 ^{*2}	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	村野 彰行	※1は午前、※2は午後
特殊外来	女性専用(内科)				古池 織恵		午前 予約患者のみ(電話も可)
	脳神経内科(内科)			戸出のぞみ			午後1:30~ 予約患者のみ(電話も可)
	ステントグラフト外来(心外)		櫻井 学				午後1:30~
	ペースメーカー外来			[交替医]			午後1:00~
	小児循環器(小児)	佐藤 純一 河内 遼/竹本直輝	村社 歩美	佐藤 純一			午後 予約患者のみ(火)は第2・4
	小児神経(小児)		高梨潤一(月1回)			牧野道子(月1回)/ 内山 薫(月2回)	午後 予約患者のみ
	小児腎臓(小児)					三浦健一郎(月1回)	午後 予約患者のみ
	小児アレルギー(小児)					下条直樹/薄井 香	月2回 午前9:00~予約患者のみ
小児外科(外科)				小松 秀吾		午前のみ(午後手術)	
遺伝カウンセリング					青柳 智義	午後1:00~4:00 予約患者のみ(電話も可)	

担当医師は、状況により変更することがありますので、受診の際には当院のホームページ等でご確認ください。

※特殊外来の小児循環器、小児神経、小児腎臓、小児アレルギーの予約および予約変更は午後2時から4時の間に小児科外来へ電話してください。